

企業情報を調べる

企業情報・業界動向などを調べる際に役立つ図書館資料をご紹介します。

1. 参考資料を調べる

※【】内は「配架場所」、「請求記号」を表しています。

資料名	特徴
『会社四季報』 東洋経済新報社	【名図キャリア（図書館2階）、Z33:51】 東洋経済新報社が年4回刊行している企業情報誌です。会社の業績予想を中心に、所在地や財務情報、株主など、会社を知るうえで欠かせない重要な情報が収録されています。
『日本マーケットシェア事典』 矢野経済研究所	【名図キャリア（図書館2階）、675.059:Y58】 全産業分野に渡って、製品毎の企業別マーケットシェアが算出されています。収録製品は750品目、業種は250業種に及び、日本国内のマーケット状況などが掲載されています。
『東商信用録 中部版』 東京商工リサーチ	【名図キャリア（図書館2階）、335.035:To46】 全国各地域の業界や地域経済を牽引する有力企業や新興企業を厳選して掲載。3期業績、仕入・販売先や役員など企業の“今”が見える多彩な情報を網羅しています。
『業種別業界情報』 経営情報出版社	【名図キャリア（図書館2階）、603.6:C67】 最新のデータに基づいて調査・分析した350業種について、各業界特有の仕組みから特性、企業規模、商品知識、流通経路、売上・利益、業界の悩み・今後の方向、最新動向までを調査・分析し、的確にわかりやすく解説されています。
『中経企業年鑑』 中部経済新聞社	【名図キャリア（図書館2階）、335.035:C61】 年1回刊行。愛知・岐阜・三重・静岡4県下の企業・約4,000社の役員名簿、取引先、最近の業績などが掲載されています。
『日経MJトレンド情報源』 日本経済新聞社	【名図キャリア（図書館2階）、675:N71】 消費トレンドの変化がわかる一冊。商品開発やマーケティングのヒントとなるトレンド解説や、日経独自調査による各種ランキングが充実した年度版書籍です。

2. データベースを利用する

愛知大学図書館では、膨大な企業情報が収録された各種データベースを利用できます。

データベース名	特徴
日経テレコン 21	過去 30 年分の日経関連新聞・雑誌記事から国内外の企業データベース、人物プロフィールなど、幅広いビジネス情報を収録。信頼性の高い情報だけを検索できる、ビジネスのための情報ツールです。
日経 BP 記事検索サービス	日経 BP 社の雑誌のバックナンバー記事を、オンラインで購読できるサービスです。論文・レポート作成や就活情報の収集にも有効です。
朝日新聞「聞蔵Ⅱ」	インターネットで利用できる朝日新聞の記事データベースです。全地域面を収録（沖縄を除く）しており全国各地の出来事も検索可能です。
東洋経済デジタルコンテンツライブラリー	『週刊東洋経済』『会社四季報』『就職四季報』『CSR 企業総覧』など、東洋経済新報社の主要刊行物を検索・閲覧できるサービスです。論文・レポート・企画書作成など、多様な用途での学術・ビジネス利用、および大学生の就職活動用途での利用が可能です。

この他、読売新聞・毎日新聞・中日新聞などの新聞データベースも利用可能です。

本資料で紹介しているデータベースは、図書館ホームページの「データベース」メニューにリンク集が掲載されています。

The screenshot shows the library's navigation menu on the left. Under the '検索・情報サイト' (Search & Information Site) section, the 'データベース' (Database) link is highlighted with a red rectangular box. A large yellow arrow points from the right towards this box, with the text 'こちらをクリック' (Click here) written inside it. The main content area on the right contains a notice about a website renewal and a section for '【学内の方へ】国立国会図書館デジタル' (For those on campus, National Diet Library Digital).

【利用上の注意点】

- ・ データベースは、学内のパソコンであれば、どこからでも利用できます。
(パソコン教室や貸出ノートパソコンでも利用可能です)
- ・ 学外から利用する場合は、情報メディアセンターの「SSL-VPN サービス」を利用してください。
(一部データベースは利用不可)
- ・ オープンカレッジ・孔子学院受講生、国際ビジネスセンター会員、同窓生、一般社会人の方は利用できません。